沖縄県介護福祉士会
令和５年度　ファーストステップ研修
講義・演習要領（案）

令和５年７月１日（土）作成

【ファーストステップ研修の学習方法】

ファーストステップ研修の学習方法は，講義・演習及び自職場等課題です。
各領域には，各々科目を設け，講義・演習前に自職場等課題のうち事前に定めた課題（事前課題）に予め取り組んでいただき，提出していただきます。

事前課題は，講義・演習に活用しますので必ず各科目の期日までに提出してください。また，講義終了後，さらに学びを深めるため，自職場等課題（事後課題）を提示します。**事後課題についても必ず各科目の期日までに提出してください。**

なお，事前課題・事後課題については，各科目ごとに設定しますので，科目によっては事前課題，事後課題いずれかに比重を置くことで，事前課題，事後課題いずれかを実施しない科目もあります。

【講義・演習要領の位置づけ】

本要領は，現段階で予定している日程及び自職場等課題の内容等について示しています。これは，研修受講前に，研修について予めイメージを持っていただくとともに，多くの方に研修内容を広くご理解していただくことを目的としています。そのため，特に後半に実施する科目については，未定となっている内容や，今後内容が変更となる可能性がありますことを予めご了承ください。

【講義・演習の日程について】

※　全日程出席を原則とします。
※　研修会場は科目によって異なる場合があります。前科目の終了時及び本会ホームページ（特設ページ「ファーストステップ研修」）にてご案内をいたします。

［オリエンテーション］

日　　時	令和５年８月19日(土)　9:00 ～12:00
内　　容	・介護福祉士生涯研修制度の全体像 ・ファーストステップ研修の目的 ・研修科目の全体像⇒各科目の到達目標・修了時の評価ポイント、自職場等課題（事前課題・事後課題） ・事前・事後課題作成の設定 ・第７期ファーストステップ研修修了生によるプレゼンテーション（総合学習の発表内容） ・ファーストステップ研修修了生による修了課題の取り組み（修了課題の提出内容） ・第10期ファーストステップ研修受講生の受講動機＆自己紹介
会　　場	沖縄県総合福祉センター 東棟５階506研修室
担　　当	沖縄県介護福祉士会理事・桑江貴英　事務局・福井彰雄

＊受講生は午後の「介護福祉士のための記録研修会」に必ず参加して下さい。ファーストステップ研修受講生の受講料負担はありません。

［第 1 回］

日　　時	令和 5 年 9 月 22 日(金)9:30 ～16:30、
科　　目	利用者の全人性，尊厳の実践的理解と展開
講　　師	鹿児島県介護福祉士会 会長　　田中　安平 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施）
課 題 締 切	事前：令和 5 年 9 月 15 日(金)
	事後：令和 5 年 10 月 23 日(月)

［第 2 回］

日　　時	令和 5 年 9 月 23 日(土)9:30 ～16:30、
科　　目	介護職の倫理の実践的理解と展開
講　　師	鹿児島県介護福祉士会 会長　　田中　安平 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施）
課 題 締 切	事前：令和 5 年 9 月 15 日(金)
	事後：令和 5 年 10 月 23 日(月)

［第 3 回］

日　　時	令和 5 年 10 月 21 日(土)または 10 月 22 日（日）9:30 ～16:30、
科　　目	コミュニケーション技術の応用的な展開（全般）
講　　師	鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科専任教員　　中森　美恵子 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施）
課 題 締 切	事前：令和 5 年 10 月 13 日(金)
	事後：令和 5 年 11 月 20 日(月)

＊事前課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 4 回］

日　　時	令和 5 年 10 月 28 日(土)9:30 ～16:30、
科　　目	コミュニケーション技術の応用的な展開（認知症）
講　　師	ホッとスペース中原　代表　　佐々木　炎 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施）
課 題 締 切	事前：令和 5 年 10 月 20 日(金)
	事後：令和 5 年 11 月 27 日(月)

＊事前課題の事例は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第５回］

日　　時	令和５年11月18日(土)9:30 ～16:30、
科　　目	ケア場面での気づきと助言－1
講　　師	ホッとスペース中原　代表　　佐々木　炎 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟４階本会事務局（zoomミーティング実施）
課 題 締 切	事前：令和５年11月10日(金)
	事後：ケア場面での気づきと助言-2 参照

＊「ケア場面での気づきと助言－1」と「ケア場面での気づきと助言－2」で共通の事前課題・事後課題となります。

［第６回］

日　　時	令和５年11月25日(土)9:30 ～16:30、
科　　目	ケア場面での気づきと助言－2
講　　師	ホッとスペース中原　代表　　佐々木　炎 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟４階本会事務局（zoomミーティング実施）
課 題 締 切	事前：ケア場面での気づきと助言-1 参照
	事後：令和５年12月25日(月)

＊事前課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第７回］

日　　時	令和６年１月20日(土)9:30 ～16：30、
科　　目	観察・記録の的確性とチームケアへの展開
講　　師	沖縄県介護福祉士会 理事　　桑江　貴英 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟３階第１会議室
課 題 締 切	事前：令和６年１月12日(金)
	事後：令和６年２月19日(月)

＊事前課題の作成にあたりテキストを購入してもらいます。
「介護職のための記録の書き方」看護の科学新社（税込2,090円）

［第８回］

日　　時	令和６年２月24日(土)9:30 ～16:30、
科　　目	職種間連携の実践的展開
講　　師	沖縄県介護福祉士会 理事　　桑江　貴英 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟３階第１会議室
課 題 締 切	事前：令和６年２月16日(金)
	事後：令和６年３月25日(月)

＊事前課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 9 回］

日　　時	令和 6 年 3 月 2 日(土) 9:30 ～16:30、
科　　目	家族や地域の支援力の活用と強化
講　　師	沖縄県介護福祉士会 会長　　垣花　秀美 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 3 階第 1 会議室
課 題 締 切	事前：令和 6 年 2 月 23 日(金)
	事後：令和 6 年 4 月 1 日(月)

＊事前課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 10 回］

日　　時	令和 6 年 3 月 22 日(金)9:30 ～16:30、
科　　目	チームのまとめ役としてのリーダーシップ
講　　師	東大阪大学短期大学部介護福祉学科専任教員　砂田　貴彦 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター（会場未定）
課 題 締 切	事前：令和 6 年 3 月 15 日(金)
	事後：令和 6 年 4 月 22 日(月)

＊事前課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 11 回］

日　　時	令和 6 年 3 月 23 日（土）9:30 ～16:30、
科　　目	セーフティマネジメント
講　　師	東大阪大学短期大学部介護福祉学科専任教員　砂田　貴彦 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター（会場未定）
課 題 締 切	事前：令和 6 年 3 月 15 日（金）
	事後：令和 6 年 4 月 22 日（月）

＊事前課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 12 回］

日　　時	令和 6 年 4 月〇日（土）9:30 ～16:30、
科　　目	介護職の健康・ストレスの管理
講　　師	沖縄県介護福祉士会　講師　　仲宗根　哲也 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター（会場未定）
課 題 締 切	事前：令和 6 年 4 月〇日（金）
	事後：令和 6 年 5 月〇日（月）

＊事前課題・事後課題の作成にあたり、冊子「介護の雇用管理改善 CHECK＆ACTION25（公益財団法人介護労働安定センター)」を使用します。冊子は事前に事務局より配布します。

［第 13 回］

日　　時	令和 6 年 5 月〇日（〇）9:30 ～16:30、
科　　目	自職場の分析
講　　師	鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科専任教員　　中森　美恵子 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施））
課 題 締 切	事前：令和 6 年 4 月〇日（金）
	事後：令和 6 年 6 月〇日（月）

＊事前課題・事後課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 14 回］

日　　時	令和 6 年 5 月〇日（〇）9:30 ～16:30、
科　　目	問題解決のための思考法
講　　師	鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科専任教員　　中森　美恵子 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施）
課 題 締 切	事前：令和 6 年 4 月〇日（金）
	事後：令和 6 年 6 月〇日（月）

＊事前課題・事後課題の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。

［第 15 回］

日　　時	令和 6 年 7 月〇日（土）　9:30 ～16:30
科　　目	総合学習
講　　師	沖縄県介護福祉士会　　理事　　桑江　貴英　氏 鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科専任教員　　中森　美恵子 氏
会　　場	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局（zoom ミーティング実施）
事前課題締切	課題提出期限に関しては，講師より指示があります。 また，当日プレゼンテーション資料等を持参してください。 ※ 提出方法や内容については，担当講師より説明があります。

修了課題提出締切	令和 6 年〇月〇日（月）必着

	利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開	

担当講師名
鹿児島県介護福祉士会
会長　田中　安平

研修領域	実施期日	会　　場
ケア領域	令和5年9月22日（金）	沖縄県総合福祉センター西棟4階本会事務局 （zoomミーティング実施）

到達目標

①豊かな人間観と、利用者への全人的、共感的、多面的な理解に立ち、利用者の尊厳が保持された状態の実現に向けた実践の改善にチームで取り組むことができる。

②利用者の生活スタイル、生活経験、心理、社会関係、地域を含めた生活環境などを含めて、利用者の生活全体をとらえ、生活全体を支援する視点から職務にあたる。

修了時の評価ポイント

①利用者の尊厳が損なわれている状況及び利用者の尊厳を損なうケアについて、また、利用者の尊厳が保持された状況及び利用者の尊厳を支えるケアについて、家庭における生活場面、介護サービスを受ける場面などの事例に基づいて具体的に説明できる。

②身体拘束が起こる背景や要因及びチームとしての改善策について、事例に基づいて説明できる。

テキスト・使用教材等

参考図書

・ミルトン・メイヤロフ著『ケアの本質』ゆみる出版
・川本隆史編『ケアの社会倫理学』有斐閣
・石川道夫・田辺稔編集『ケアリングのかたち』中央法規出版
・村田久行著『ケアの思想と対人援助』川島書店
・田中安平著『新・介護の本質』インデックス出版

自職場等課題

【事前課題の内容】
自職場における、利用者の尊厳が守られていないと思われる事例に対する「日常的な実践内容」を具体的に記述し、なぜそのような援助がなされるのか、どうすれば尊厳を保持した支援につながるのか、あなたの考えを述べてください（1200字以上1600字以内）。

【事後課題の内容】
講義を受けた後で、利用者の尊厳の保持のために職員の意識・態度、もしくは自分の意識・態度が変化したと思われる事例について、具体的にどこがどのように変化してきたかを報告してください（1200字以上1600字以内）。

	介護職の倫理の実践的理解と展開	

担当講師名
鹿児島県介護福祉士会
会長　田中　安平

研修領域	実施期日	会　　場
ケア領域	令和5年9月23日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟4階本会事務局 （zoomミーティング実施）

到達目標

①利用者の生活スタイル、生活経験、心理、社会関係、地域を含めた生活環境などを含めて、利用者の生活全体をとらえ、生活全体を支援する視点から職務にあたる。

②介護職としての倫理・価値及び、介護職の援助のあり方について理解したうえで、それが、医療サービス、家族や利用者本人の希望、あるいは制度との葛藤が起きる可能性や原因を理解し、適切な対応ができる。

修了時の評価ポイント
①介護福祉士の倫理綱領、事業所の理念について、介護の実践場面においてどのように活かされるのか、具体的に説明できる。
②対人援助職の倫理の考え方（倫理理論、倫理原則、道徳規範、倫理的判断のための基準、医療・看護分野の倫理、生命倫理等）について、概説できる。
③介護職の価値・倫理に基づく支援と、医療サービス、家族や利用者本人の希望、あるいは制度との葛藤が起きる可能性について、事例に基づいて具体的に説明できる。また、具体的な葛藤場面の事例において、自分自身の価値判断を離れ、起きている事実・状況を理解したうえで、適切な対応のあり方について根拠に基づいて説明できる。

自職場等課題

【事前課題の内容】

自職場において医療サービス、家族や利用者本人の希望、あるいは制度との葛藤が起きていると思われる事例（倫理的規範に基づくケアが実践されていないと思われる事例）に対する「日常的な実践内容」を具体的に記述し、なぜそのような葛藤が起きているのか、どうすれば利用者の意思を尊重した支援につながるのか、あなたの考えを述べて下さい（1200字以上1600字以内）。

【事後課題の内容】
講義を受けた後で、倫理的規範に基づくケアを実践しようとして職員の意識・態度、もしくは自分の意識・態度が変化したと思われる事例について、具体的にどこがどのように変化してきたかを報告してください（1200字以上1600字以内）。

	コミュニケーション技術の 応用的な展開（全般）	

担当講師名
鹿児島医療福祉専門学校
専任教員 中森　美恵子

研修領域	実施期日	会　　場
ケア領域	令和 5 年 10 月 21 日（土）または 10 月 22 日（日）	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

①利用者の表情、ふるまい、言葉、環境とのかかわりなどから、利用者の身体面・精神面・社会面の状況や変化に気づき、言語化できるとともに、利用者にとってのより望ましい状態に実現に向けてチームで取り組むことが出来る。

②適切な身体介護や非言語コミュニケーションの在り方を理解し、実行するとともに、後輩などに指導することができる。

修了時の評価ポイント

①自分自身のコミュニケーションの特性を説明し、それが介護場面においてどのように活かされ、何に留意すべきかを説明できる。

②利用者の尊厳が損なわれている状況及び利用者の尊厳を損なうケアについて、また、利用者の尊厳が保持された状況及び利用者の尊厳を支えるケアについて、介護サービスを受ける場面などの事例に基づいて具体的に説明できる。

③様々な場面において、利用者が何を求めているか、などについて、多角的に考察した上で、自身の考えについて根拠をもって説明することができ、後輩などにどのように指導・助言するかを説明できる。

テキスト・使用教材等

配布資料　各種ワークシート　各受講者の事前課題（※　必ず、事前課題を持参してください。）

自職場等課題

【事前課題の内容】

自職場における介護場面での 2 者のコミュニケーションを振り返り、プロセスレコードをワークシートに沿って記入してください。作成するプロセスレコードは２つ。コミュニケーションをやり取りする対象は、ご利用者、ご利用者家族、職員同士、など。

①よりよい交流が出来たと思ったり、優れたコミュニケーションであると思ったりしたプロセスレコード

②コミュニケーションがうまくいかなかったり、そのコミュニケーションで対応が困難になったプロセスレコード

【事前課題の方法】指定のワークシートを使用する。

・どのような場面　・登場人物　・概要

・実際のコミュニケーション場面でのやりとり（行動、発言、表情、口調など、具体的に書く）

①について～よりよい交流が出来たと思ったり、優れたコミュニケーションであると思ったりしたポイントは何か、考えられる理由。

②について～コミュニケーションがうまくいかなかったり、そのコミュニケーションで対応が困難になったりしたポイントは何か、考えられる理由。

【事前課題の留意点】

職場内における、日常のケア場面でのコミュニケーションを振り返り、記録として可視化できていること。

【事後課題のねらい】

修了時の評価ポイントを踏まえ、自職場において、実践に活かすための具体的な目標設定や提案ができる。

【事後課題の内容】

自職場で経験したコミュニケーション困難事例を挙げ、ワークシートに沿って、①どのような場面で、②登場人物は誰で、③具体的な内容はどのようなことか、④考えられる原因は何か、⑤コミュニケーションについての課題は何か、⑥その対応方法について、講義での学びを踏まえて、⑦どのような取り組みを行っていくかの考察、を述べてください。

	コミュニケーション技術の 応用的な展開（認知症）	

担当講師名
ホッとスペース中原
代表　佐々木　炎

研修領域	実施期日	会　　場
ケア領域	令和5年10月28日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟4階本会事務局 （zoomミーティング実施）

到達目標

①認知症の人が認知症を患いながらも自分らしく生きることができるように、認知症の人自身のコミュニケーション方法を知り理解できるようになる。
②認知症の人の表情、ふるまい、言葉、環境とのかかわりなどから、利用者の身体面・精神面・社会面・スピリチュアル面の状況や変化に気づき、言語化できるとともに、利用者にとってのより望ましい状態の実現にむけてチームで取り組むことができる。
③介護福祉士として、適切な知識・技術（非言語コミュニケーション）を身に着け、適切なコミュニケーションをし、利用者自身の自己実現を図れるようになれる。また後輩等に指導できる。

修了時の評価ポイント

①自分自身のコミュニケーションの特性を説明し、それが介護場面においてどのように阻害要因になる恐れがあるのか、何に留意すべきかを説明できる。

②認知症の人のコミュニケーションの特性を説明し、何を求めているのか「ニーズ」「ニード」に応える支援方法を身に着けることができる。

③様々な場面において、利用者が何を求めているか、などについて、多角的に考察した上で、自身の考えについて根拠をもって説明することができ、後輩等にどのように指導・助言するかを説明できる。

テキスト・使用教材等

〇DVD
〇「認知症介護基礎研修標準テキスト」
〇「バリデーションへの誘い」（都村尚子著、CLC出版）
〇「認知症のパーソンセンタードケア」（トム・キットウッド著、クリエイツかもがわ出版）

自職場等課題

【事前課題のねらい】
『山田優子さんの事例を通して』認知症の人のコミュニケーションを考える
尊厳や倫理を根底として身体拘束を意識し読み解く。

【事前課題の内容】
事前課題のワークシートの事例を読んで、介護支援のプロセスの提案をして下さい（1200字程度）
ワークシートに直接入力してもかまいません。

【事後課題の内容】

研修の成果をふまえて、『認知症の人のコミュニケーション技術の応用の展開』を意識的に実施した説明報告をしてください。（1200字程度）

	ケア場面での気づきと助言-1	

担当講師名
ホッとスペース中原
代表　佐々木　炎

研修領域	実施期日	会　　場
ケア領域	令和 5 年 11 月 18 日(土)	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

① 誰でもない，かけがえのない利用者への全人的理解を図ることによってその人自身の尊厳ある暮らしが実現できるように取り組むことができる。
② 利用者主体性（主人公）の介護をするために必要な技術と知識と人間理解を身に着けることができる。
③ 自分のケアを振り返り，それを客観視し，常に改善・工夫することで，利用者の福祉につながる視点を習得することができる。

修了時の評価ポイント

① 利用者の尊厳を理解した人間観，介護観を身につけ説明できる。
② 個別性の大切さを説明でき，具体的な支援方法を身につけることができる。
③ 利用者のニーズに気づき，その背景や根拠を説明できる。

テキスト・使用教材等

＜著書＞
・『ICF を取り入れた介護過程の展開』（黒澤　貞夫 編著　建帛社）
・『ケアの本質』（ミルトン・メイヤロフ/田村　真・向野宣之 訳　ゆみる出版）
・『人間の発見と形成』（リッチモンド　誠信書房）
・『基礎から学ぶ　気づきの事例検討会』（渡部　律子 著　中央法規出版）
・『福祉・介護におけるスピリチュアルケア』（深谷　美枝・柴田　実 共著　中央法規出版）
・『認知症のパーソンセンタードケア』（トム・キットウッド 著　筒井書房）
・『新・介護福祉士養成講座』（中央法規出版）
・『人は命だけでは生きられない』（フォレストブックス，佐々木　炎 著）

＜視聴覚＞
・『ホームヘルパーの役割と可能性』（中央法規出版）
・『おいぬ様でいよう』（演劇ビデオ）
・『現場の映像』
・その他のビデオ

自職場等課題

【事前課題のねらい】

「介護過程の展開」は『ケア場面での気づきと助言』の大切な基礎知識となります。事前に「介護過程の展開」を学び受講を深めていきます。

【事前課題の内容】
受講生が勤務する自職場や居宅で生活する利用者（患者）の事例をあげて、その利用者（患者）の生活の全体像を５行程度で記述してください(約 200 文字程度)。そのさいにアセスメント表 1-1･アセスメント表 1-2･ＩＣＦ（国際生活機能分類）整理シートを作成するとともに、ＩＣＦ（国際生活機能分類）の構成要素間の相互作用を踏まえて生活の全体像との関連について 1,200 文字程度でまとめてください（本会指定「事前課題提出用紙（PDF データ)」を使用する)。
＊予め利用者（患者）より同意を取り付けておくとともに個人情報が特定されないよう留意してください。
＊介護福祉士基本研修で学んだ「介護過程の展開」を再度復習してから事前課題に取り組んで下さい。
＜参考テキスト＞
介護福祉士基本研修テキスト（編集公益社団法人日本介護福祉士会、発行所中央法規出版株式会社）
生活 7 領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル（編集公益社団法人日本介護福祉士会、発行所中央法規出版株式会社）
【事後課題の内容】ケア場面での気づきと助言―2 参照

	ケア場面での気づきと助言-2	

担当講師名
ホッとスペース中原
代表　佐々木　炎

研修領域	実施期日	会　　場
ケア領域	令和 5 年 11 月 25 日(土)	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 (zoom ミーティング実施)

到達目標
① 誰でもない，かけがえのない利用者への全人的理解を図ることによってその人自身の尊厳ある暮らしが実現できるように取り組むことができる。
② 利用者主体性（主人公）の介護をするために必要な技術と知識と人間理解を身に着けることができる。
③ 自分のケアを振り返り，それを客観視し，常に改善・工夫することで，利用者の福祉につながる視点を習得することができる。

修了時の評価ポイント
① 利用者の尊厳を理解した人間観，介護観を身につけ説明できる。
② 個別性の大切さを説明でき，具体的な支援方法を身につけることができる。
③ 利用者のニーズに気づき，その背景や根拠を説明できる。

テキスト・使用教材等
＜著書＞
・『ICF を取り入れた介護過程の展開』（黒澤　貞夫 編著　建帛社）
・『ケアの本質』（ミルトン・メイヤロフ/田村　真・向野宣之 訳　ゆみる出版）
・『人間の発見と形成』（リッチモンド　誠信書房）
・『基礎から学ぶ　気づきの事例検討会』（渡部　律子 著　中央法規出版）
・『福祉・介護におけるスピリチュアルケア』（深谷　美枝・柴田　実 共著　中央法規出版）
・『認知症のパーソンセンタードケア』（トム・キットウッド 著　筒井書房）
・『新・介護福祉士養成講座　介護の基本ⅠⅡ，生活支援技術』（中央法規出版）
・『新しい介護』（太田　仁史・三好　春樹 著　講談社）
・テキスト『ICF の理解と活用』（上田敏　著　きょうされん）
＜視聴覚＞
・『現場の映像』
・その他のビデオ

自職場等課題

【事前課題の内容】
ケア場面での気づきと助言―1 参照

【事後課題の内容】
研修の成果をふまえて、事前課題で作成したアセスメント表 1-1・アセスメント表 1-2・ＩＣＦ（国際生活機能分類）整理シートを再度修正して下さい(字体や色を変える等修正した箇所が分かるようにして下さい)。その後所属する事業所において、『ケアの改善の必要性に気づき』実践したことを 2000 字程度でレポートして下さい。その際、何に気づいたのか、その改善の根拠、どのような形で計画し進めたのか、その成果など**「介護過程の展開」**に沿ってレポートして下さい。
＊介護過程が展開されていない内容については、再提出を求める場合があります。

＊令和 6 年 1 月 20 日（土）受講科目「観察・記録の的確性とチームケアへの展開」で事後課題を使用します。

	観察・記録の的確性とチームケアへの展開	

担当講師名
沖縄県介護福祉士会
理事　桑江　貴英

研修領域	実施期日	会　　場
連携領域	令和 6 年 1 月 20 日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟 3 階第 1 会議室

到達目標

① 適切な介護過程の実践のための観察能力を高める。
② 知識や技術に基づいた介護過程の展開を言語化でき、計画に沿った介護行為を適切に記述できるようにする。
③ 適切に記述された記録に基づき日々の業務で実践・活用できる。
④ 介護過程に基づいた適切な記録により情報共有ができ、適切なチームケアが実践できる。
⑤ 記録の意義・機能・方法について、後輩等に指導できる。

修了時の評価ポイント

① 具体的な記録例について、不十分な点を指摘し、その背景にある不十分なかかわり・不適切な介護過程を指摘できるとともに、観察すべきポイント、記録すべき内容について具体的に指摘できる。
② 記録の機能・考え方や形式などを理解し、専門的な観察と記録がチームケアで、大きな有意性を持っていることが理解できる。

テキスト・使用教材等

・当該科目の事前課題
・科目「ケア場面の気づきと助言」事後課題
・テキスト「介護職のための記録の書き方」（看護の科学社）
・質の高い介護サービスの提供に向けた介護業務分析に関する調査研究事業報告書（公益社団法人日本介護福祉士会）
・DVD「介護職員のこころがけ」第一法規
・回復期リハビリ病棟看護記録（SOAP）
・第 29 回＆第 30 回介護福祉士国家試験問題（介護過程）
・伝説の走塁（動画）・神になった絶体絶命の PK 戦（アジアカップ日本代表 VS ヨルダン 2004）
・「洞察力」宮本慎也（ダイヤモンド社）

自職場等課題

【事前課題のねらい】
適切に記述された記録に基づき日々の業務で実践・活用できるようにする。また日々の観察と記録の不十分なところを見出し、今後の記録に生かすことができるとともに、後輩等に指導することができるようになる。

【事前課題の内容】
記録の書き方について、「介護福祉士のための記録研修会」配布資料（田中安平講師）及びテキスト「介護職のための記録の書き方」（看護の科学社）で学習し、自職場で記載した介護記録を適切な文章に書き直して下さい。また書き直した後と書き直す前の記録を比較し、適切に記述された記録を書くための実践的視点について 1200 文字でまとめて下さい（例えば、その背景にある不十分なかかわり、不適切な介護過程、観察すべきポイント等）。実践的視点とは、介護福祉士が適切な記録を書くために体得しておかなければならない専門的視点のことをいいます。

【事後課題のねらい】
的確な観察と記録を実践するためには、後輩等への指導を通して観察能力の向上と適切な記録を記述する視点が必要であることを認識する。

【事後課題の内容】
観察・記録について一人の後輩等に指導を行い、その後後輩等よりフィードバックを受けたうえで指導のあり方について評価して下さい。そのうえで今回の研修内容を意識して記録した評価結果を 1200 文字でまとめて下さい。指導する観察・記録の様式は特に問いませんが、後輩等とのやり取りが分かる資料を提出して下さい。

	職種間連携の実践的展開	

担当講師名
沖縄県介護福祉士会
理事　桑江　貴英

研修領域	実施期日	会　　場
連携領域	令和 6 年 2 月 24 日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟 3 階第 1 会議室

到達目標

介護職としての役割・視点に基づき、他職種と連携しチームケアを実践できる。

①チーム（他職種を含む）ケアにおける課題・目標の共有化及び的確な情報の授受が行えるようにする。
②チームケアにおける介護職の役割と状況に応じてとるべき行動を理解させる。

修了時の評価ポイント

①看護職等の他職種の役割や業務内容、チームケアにおいて介護職に期待される役割・行動について、具体例に基づき説明できる。
②申し送り、急変、事故、家族への連絡などの場面を想定した事例に基づき、チーム（他職種を含む）ケアにおいて、何を観察、報告、連絡、相談すべきかについて、具体的に説明できる。

テキスト・使用教材等
・事前課題ワークシート
・当日配布資料、ワークシート
・「チームへの指示書」ワーク
・テキスト「介護福祉士がすすめる多職種連携」中央法規
＜参考図書＞
　　野中猛「多職種連携の技術(アート)―地域生活支援のための理論と実践」2014 中央法規
　　京極 真「信念対立解明アプローチ入門―チーム医療・多職種連携の可能性をひらく」2012 中央法規

自職場等課題

【事前課題のねらい】
自分自身が、日々の業務上で実際に体験した他職種との連携場面を振り返り、連携の困難性や課題をグループで共有化しそこでの取るべき行動について議論することで、職種間連携の展開に必要な実践的なポイントの理解を深める。

【事前課題の内容】
「連携や協働を行う実際の場面でむずかしさや課題を感じた具体的なエピソード」をひとつあげて別紙ワークシートに記述する。
自己の実践現場で業務上かかわりのある他の職種や機関（事業所内・外）との具体的な連携や協働場面において〝連携がうまくできなかった〟〝ぎくしゃくしていて課題があった〟など「連携や協働を行う実際の場面でむずかしさや課題を感じた具体的なエピソード」をあげて記述する。

【事後課題のねらい】
　介護福祉の専門性としての理念価値を基盤としてその役割・視点に基づき、介護福祉の理念価値と異なる他職種と連携しチームケアを実践できるようにする。

【事後課題の内容】
講義・演習の内容を踏まえ以下①と②の課題に取り組む。日常的な支援や業務の場面において、実際に取り組んだ内容をそれぞれ 1,000 文字程度でまとめる。
①チーム（他職種を含む）ケアにおける課題・目標の共有化及び的確な情報の授受が行える（サービス担当者会議・ケアカンファレンス等）。
②チームケアにおける介護職の役割と状況に応じた行動がとれる（食事支援における看護師との連携場面等）。

	家族や地域の支援力の活用と強化	

担当講師名
沖縄県介護福祉士会
会長　垣花　秀美

研修領域	実施期日	会　　場
連携領域	令和 6 年 3 月 2 日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟 3 階第 1 会議室

到達目標

① 利用者や家族の双方の想いや葛藤を理解し、適切な対応ができるようにする。利用者や家族の潜在的な希望や意欲を引き出せるようにする。
② 利用者が豊かに生活するうえでの友人・知人・ボランティアなどの大切さ、意義を理解し、活用できるようにする。
③ 相談援助技術等、ソーシャルワークの技術を活用したかかわりや働きかけを行うことができるようにする。

修了時の評価ポイント

① 利用者や家族が自らの想いに気づかない、言葉にできないこと、また、それらをどのように引き出すことが可能かについて、事例に基づいて具体的に説明できる。
② 介護の現場において、相談援助技術やソーシャルワーク技術をどのように活用できるかについて、事例に基づいて具体的に説明できる。

テキスト・使用教材等
・事前課題ワークシート
・当日配布資料、ワークシート
・DVD「沖縄フリーゾーン・島で老いを支えたい～渡名喜島・介護ヘルパーの日々～」「クローズアップ現代・介護する家族を救え」「講師の事例（実母）」
・YouTube「魔法のチケット」「お父さんは愛の人」
・「ご近所づくり助け合いカード」さわやか福祉財団
＜参考図書＞
岩間暁子「問いからはじめる家族社会学 -- 多様化する家族の包摂に向けて」2015 有斐閣
森岡清志「社会学入門」2018 放送大学教材
新・社会福祉士養成講座 3「社会理論と社会システム第 3 版」2015 中央法規

自職場等課題

【事前課題のねらい】
実際の人物を想定し、その人物の心理・社会的（内的）世界や家族、地域社会とのかかわりなどに広く視野を広げて情報を整理することで、人の生活の全体性を理解し、介護計画の策定・評価など、その支援への展開方法を理解する。

【事前課題の内容】
サービス利用者（適当な事例がない場合は、自分自身・自分自身の家族・著名人などでもよい）を一名特定し、その人物についてワークシートをもとに多面的な視点から記述してみる。ワークシート（様式１）

【事後課題のねらい】
・利用者や家族が自らの想いに気づかない、言葉にできないこと、また、それらをどのように引き出すことが可能かについて、事例に基づいて具体的に説明できる。
・介護の現場において、相談援助技術やソーシャルワーク技術をどのように活用できるかについて、事例に基づいて具体的に説明できる。
【事後課題の内容】
日常の支援や業務の場面の事例を使って、『家族や地域の支援力をどのように引き出し活用したり、強化したりすることができるか』、今回の研修で学んだ内容を参考にまとめる（文字数 1,000 文字程度）。

	チームのまとめ役としての リーダーシップ	

担当講師名
東大阪大学短期大学部介護福祉学科
専任教員　砂田　貴彦

研修領域	実施期日	会　　場
運営管理領域	令和 6 年 3 月 22 日（金）	沖縄県総合福祉センター（会場未定）

到達目標
①自職場のリーダー及びフォロワーとしての役割と責任を学び、よりよいチームワークを展開できる。
②非営利組織でのマネジメントの仕組みと介護福祉職のエンパワーメントの関係性を学ぶ。
②リーダーシップを発揮するため、分かりやすく、説得力のあるプレゼンテーション能力を身につける。

修了時の評価ポイント
①リーダーシップ、フォロワーシップ、エンパワーメント、非営利組織のマネジメントについて概説し、自分自身の各方面から期待されているリーダーシップについて、具体的事例を用いて客観的に説明できる。
②自分が自職場内で期待されている役割、責任について分析し、それに現在はどの程度応えられているか、また今後その役割、責任に応えるためにどのように取り組むべきかを説明できる。
③自職場に関する課題と、その解決の方向性について分析し、参考文献等を用いて説明できる。

テキスト・使用教材等
・新版リーダーシップからフォロワーシップへ　カリスマリーダー不要の組織づくりとは　中竹竜二　CCC メディアハウス　2018 年
『被抑圧者の教育学』パウロ・フレイレ　小沢 有作他訳　亜紀書房　1979年
・Black Empowerment social work in oppressed　Barbara Bryant Solomon Columbia University Press 1976
・ダイアローグ・マネジメント　対話が生み出す強い組織　K・J・ガーゲン他　ディスカバー21　2015
・現実はいつも対話から生まれる　K・J ・ガーゲン他　ディスカバー21　2018
・スティーブ・ジョブス　驚異のプレゼン　カーマイン・ガロ　日経 BP　2010 年
【事前課題のねらい】
パワーポイント等プレゼンテーションツール又は用紙等を用いて、シンプルかつ説得力のあるプレゼンテーション資料を作成できること。

【事前課題の内容】
自分が尊敬するリーダーを１人挙げ、その人物についてのプレゼンテーション資料を作成する。
・プレゼンの内容は①リーダーの名前と簡単な紹介、②取り上げたリーダーの実績、③なぜ自分がこの人を取り上げたのか　の 3 点について、パソコンまたは手書きで 3 枚以内、発表内容は 3 分以内の内容で作成し、事務局が指定する方法で提出すること。
　プレゼンテーションはまた、ZOOM で研修当日にプレゼンテーションができるようパソコンや通信環境の設定も整えておくこと。また研修当日のパソコンは可能な限り受講生 1 人につき 1 台を使用すること。

【事後課題のねらい】
プレゼンテーション資料の作成、修正を通じてリーダーシップとフォロワーシップの関係性を考える。
【事後課題の内容】
本日の講義を受けたことで、事前課題作成時と比べて、自分のリーダーシップに関する考えに変化があったかどうかについて、講義の感想を含めて A4 用紙１枚（1200 字以内）にまとめて提出のこと。原稿用紙への手書きに変えての提出も可とする。いずれの場合も、文字数を末尾に記載すること。

セーフティマネジメント

担当講師名
東大阪大学短期大学部介護福祉学科
兼任講師　砂田　貴彦

研修領域	実施期日	会　　場
運営管理領域	令和 6 年 3 月 23 日（土）	沖縄県総合福祉センター（会場未定）

到達目標
①サービスのあり方や組織、経営について問題意識を持ち、業務改善を企画、提案し、具体的な取り組みが行える。
②自職場の業務を進める上でのリスクを多面的に評価し、ケアへの展開につなげることができる。
③セーフティーマネジメントの方法を理解し、チームで推進でき、事故発生時にはチームのまとめ役として適切に行動できる

修了時の評価ポイント
①セーフティーマネジメントの体制の具体的内容について説明でき、自職場の当該課題とその解決法の分析ができる。
②介護事故、感染症、ヒヤリ・ハット等の予防、発生後対応について、事例に基づき具体的に説明できる。
③自職場のサービスや組織運営に関する課題やその解決の方向性について分析し、その解決の方向性について説明できる。

テキスト・使用教材等
・ハインリッヒ　産業災害防止論　H.W.ハインリッヒ著　総合安全工学研究所　訳　海文堂　1982 年
・完全図解　介護リスクマネジメント　トラブル対策編　山田滋　著　三好春樹監修　講談社　2018 年
・完全図解　介護リスクマネジメント　事故防止編　　山田滋　著　三好春樹監修　講談社　2018 年
・現場の取り組みから学ぶ　高齢者施設のリスクマネジメント　山田滋　株式会社安全な介護
　https://www.youtube.com/watch?v=A5VMt5g-hKU
・現場の取り組みを成果につなげる　事故防止活動の管理者マネジメント　山田滋　株式会社安全な介護
　https://www.youtube.com/watch?v=8uhph81TrIk

職場等課題

【事前課題の内容】
１）　別紙事前課題シートを記入し、事務局の定める期限までに提出すること。
２）　リスクマネジメント、セーフティーマネジメント関連書籍を 3 分間で紹介できるように事前に準備し、当日必ず原著（本）を持参すること。自宅、職場にある書籍、雑誌、ネット書籍等でも可だが、できるだけ新しい書籍、文献をあたること。

【事後課題の内容】
自分自身が今まで介護福祉職としての業務上で実際に経験したインシデント（ヒヤリ・ハット）事例、アクシデント事例、苦情事例について、各 1 事例づつ具体的に挙げ、これらそれぞれに対する実際の対応や、その後の経過、そして再発防止策等についての考察を A4 用紙 1 枚以内で自由に記述してください。なお、当該事例は、かならずしも自分自身が当事者ではなくてもよいこととする。（職場の同僚、部下、上司、利用者が当事者となった事例でも可とする）

	介護職の健康・ストレスの管理	

担当講師名
沖縄県介護福祉士会
講師　仲宗根　哲也

研修領域	実施期日	会　　場
運営管理基礎領域	令和 6 年 4 月〇日（土）	沖縄県総合福祉センター（会場未定）

到達目標

①適正な人事・労務・健康管理に関する知識をもち、小規模チームのまとめ役として、管理職を補佐することができる。
②自分自身や後輩などに心身面の問題が発生した場合、小規模チームのまとめ役として、適切に対応が出来る。

修了時の評価ポイント

①介護職場の基本的な人事・労務管理の法令、規則について説明できる。
②介護職の職場における心身の健康管理の留意点・ポイントについて説明できる。
③自職場における人事・労務・健康管理の課題とその解決法について分析できる。

テキスト・使用教材等

・「介護福祉士ファーストステップ研修」（全社協）・ニュース記事（喫煙・過労死）
・ストレスチェック制度について（厚生労働省）
・介護の雇用管理改善 CHECK＆ACTION25（公益財団法人介護労働安定センター）
・雇用管理改善のための業務推進マニュアル改訂版（公益財団法人介護労働安定センター）
・介護労働者のストレスに関する調査・介護労働実態調査結果（公益財団法人介護労働安定センター）
・DVD ちゃーがんじゅー体操（沖縄県）
・労働基準法及び労働安全衛生法等人事労務管理に関する資料
・介護現場のためのストレスマネジメント支援テキスト（認知症介護研究・研修仙台センター）
・バーンアウトにより退職にいたった職員の事例
・バーンアウト尺度（チェックリスト）
・うつ病により自殺企図にいたった事例
・平成 29 年度介護福祉士国家試験問題（腰痛予防・ストレスチェック制度）
・平成 30 年度介護福祉士国家試験問題（育児・介護休業法・労働者災害補償保険制度・バーンアウト）

自職場等課題

【事前課題のねらい】
小規模チームのまとめ役として、自分自身のストレス状態のみならず後輩等の心身の健康状態も客観的に把握できるようになる。また自法人・事業所の雇用管理状況における課題を認識し、改善に向けた取り組みの必要性が理解できるようになる。

【事前課題の内容】
・「介護の雇用管理改善 CHECK＆ACTION25」Ｂ：労務管理・職場環境（P38～50）を読み自法人・事業所の雇用管理状況をチェックする。その後チェックした数字の内容についておのおの 200 字程度でまとめる（様式の指定なし）。
・自分自身のストレスチェック「職業性ストレス簡易調査票（57 項目）」を実施する。

【事後課題のねらい】
小規模チームのまとめ役として、管理職を補佐することができるとともに、自分自身や後輩などに心身面の問題が発生した場合、適切に対応が出来る仕組み作りを職場内で構築していくことが必要であることを認識する。

【事後課題の内容】
自職場内において５名以上の介護職員にＢ：労務管理・職場環境（P38～50）の雇用管理状況をチェックしてもらう。そのさいチェックした理由についても簡単に記載してもらう。その後受講生自身が事前課題でチェックした数字の内容と自職場で記入してもらった５名の介護職員の数字の内容を比較して課題を分析する（約 1200 字程度）。

自職場の分析

担当講師名
鹿児島医療福祉専門学校
専任教員 中森　美恵子

研修領域	実施期日	会　　場
運営管理基礎領域	令和 6 年 5 月〇日（〇）	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

①チームのまとめ役としての役割や責任を自覚し、よりよいチームワークを展開できる。

②より質の高いサービスを提供するために、限られた人員・財源・時間などの資源を効率的・効果的に活用しようとする姿勢を持ち、チームの業務の見直しを行うことが出来る。

修了時の評価ポイント

①自分自身のリーダーシップについて分析し、説明できる。

②自職場のサービスや組織運営に関する課題やその解決の方向性について分析し、説明できる。

③自分が組織内で期待されている役割・責任について説明し、どの程度応えられているか、またその役割・責任に応えるために取り組むことについて説明できる。

自職場等課題

【事前課題のねらい】

① 日頃の業務で、どのようなことを問題であると認識しているのか、自職場においての問題認識を可視化する。

②講義当日、受講生から提出された事前課題をもとに、自職場の課題について改善策のための演習を行う。

【事前課題の内容】

① 自職場において、あなたが解決したいと思っている問題について、「問題の内容」、「どのような背景や理由があるのか」、「これまでに解決に向けて取り組んだことはあるか」について記述してください。

例）職員から声は挙がっていたものの、実施に結びついていないこと。
取り組んだけれど、改善につながっていないこと。
職員の反応など、可能な限り具体的に記述してください。

② 自職場の人材育成・後進の指導について、あなた自身が取り組んでいることや、課題だと考えていることを記述してください。

【事後課題のねらい】

本講義を通して気づいたことや、理解できた新たな視点を踏まえて、リーダーとしての役割を自覚し、自職場における問題の分析につなげることが出来る。

【事後課題の内容】

自身の書いた事前課題も振り返りながら、自職場の問題解決のために，今後，どのように取り組むか。講義で学んだことを踏まえて、必ず分析視点（その問題はどのようなことから構成されているか、その原因は何か、取り組み内容を選んだ優先順位や根拠はなにか）を取り入れてまとめてください。（1200 字以上 1600 字以内）

問題解決のための思考法

担当講師名
鹿児島医療福祉専門学校
専任教員 中森　美恵子

研修領域	実施期日	会　　場
運営管理基礎領域	令和 6 年 5 月〇日（〇）	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

①職場にある課題について、改善手法の理論や展開方法を学ぶことで、多面的な視点から分析し、解決に取り組むことができるようになる。

②組織内で、課題解決に向けてプレゼンテーションができる。

修了時の評価ポイント

①自職場のサービスや組織運営に関する課題やその解決の方向性について分析し、説明できる。
②自分が組織内で期待されている役割・責任について説明し、どの程度応えられているか、またその役割・責任に応えるために取り組むことについて説明できる。
③問題解決のための発想技法を説明し、実際に自職場の問題解決に用いることができているか。業務改善に関して、企画、提案、プレゼンテーションが実施できるか。
④当日の演習状況及び事後課題（提出期限、文字数、誤字脱字の有無、レポート内容）

自職場等課題

【事前課題のねらい】
業務改善に取り組むにあたって、参考文献などから基礎知識を得て、自分なりの問題解決思考やリーダー像についての思考を可視化しておく。

【事前課題の内容】
「問題解決」や「リーダーシップ」について、参考文献や論文を活用して調べたこと及びその中から印象に残ったこと（活かせそうだと思ったこと）を記述してください。
※参考文献は、その本の出版社・著書・発行年を必ず明らかにしてください。
論文からの引用の場合は、
論文；論文著書名（出版年）『書名（タイトルーサブタイトルー）』出版社名.
雑誌論文の場合；論文著書名（出版年）「論文名」『掲載雑誌（もしくは紀要）名』
巻（号），論文初ページー終ページ

【事後課題のねらい】
問題解決について思考方法とプレゼンテーションについて学んだことを、実際の職場内で活用することができる。

【事後課題の内容】
①ファーストステップ研修で学んだことを踏まえ、自職場で 1 時間の研修を行う場合の研修計画案を作成してください（指定の様式使用）。
②　研修計画案を作成するに当たって、戸惑ったことや工夫したことについて、800 字以内で述べてください。

総合学習

担当講師名
鹿児島医療福祉専門学校
専任教員 中森　美恵子

沖縄県介護福祉士会
理事　桑江　貴英

研修領域	実施期日	会　　場
「ケア」「連携」「運営管理基礎」領域	令和６年〇月〇日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟４階本会事務局（zoom ミーティング実施）

到達目標

①「ケア」「連携」「運営管理」領域の研修を受講し、自職場での課題（問題）に気づき設定できる。
②その課題解決に向けて、チームとして取り組むことができたプロセスを分りやすくプレゼンテーションできる。
③「ケア」「連携」「運営管理」領域の研修を受講し、介護福祉士の専門性について定義づけできる。
④修了課題を通してファーストステップ研修の成果を上司や同僚等へ根拠を持って説明できる。

修了時の評価ポイント

※事前に提出された資料やプレゼンテーションの内容等を評価する。
①「ケア」「連携」「運営管理」領域のなかで自職場での課題を設定できる。
②　課題に向けて、分析しチームで取り込み評価ができる。
③　実践をまとめ、知識理論に基づいて考察し、口頭で分りやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
④　自分自身が考える介護福祉士の専門性について定義づけすることができる。
⑤　修了課題に向けて指定された文字数で作成することができる。

自職場等課題

【ねらい】
自職場について「ケア」「連携」「運営管理」３領域の中で、自職場の課題や評価できる点を設定、分析、実践、評価、考察しプレゼンテーションすることができる。介護福祉士の専門性について定義づけできる。修了課題を通してファーストステップ研修の成果を上司や同僚等へ根拠を持って説明できる文章を作成する。

【 内容 】: 方法
①自職場について「ケア」「連携」「運営管理」３領域の中で、自職場での課題を分析する。
②その分析した結果から、どの様に取り組んだかをまとめる。
③取組の結果から「得られた成果はどの様なことであったか」また「導き出された課題は何か」を利用者軸で分析、評価する。
④①～③の過程をレポートとしてまとめる。
⑤①～③の過程について、伝えたいことを絞り込み、プレゼンテーションの方法を選択し、１５分程度にまとめる。研修当日の準備を行う。
※　プレゼンテーションの方法について，事前課題のレポートに必ず記載して提出する。
※　事前に準備が必要な機材・物品などの内容をレポートと併せて提出期日までに提出する。
パワーポイントのデータは当日持参することと受講生本人の名前で事務局あてにメールで送る。
模造紙の場合は，当日持参する。